

■2017年度技術支援一覧表

[短期支援]

No.	申請年月日	実施期間	担当者	依頼者	依頼内容
1	2017/3/30	2017/4/24 2017/4/26	加茂正人 米田格	山崎健一 地震予知研究センター リアルタイム総合観測分野	宮崎観測所教育・研究環境整備 宮崎観測所は海域（日向灘）を含む南九州の地震・地殻変動の研究観測拠点であり、最近数年の研究課題の拡大に伴い観測準備等に多くのスペースを要するようになってきた。観測所には、技術の進歩等のために現在では使われなくなった機材・雑誌類等がたまっており、これらを整理・破棄することで、研究観測に必要な作業スペースが確保できると期待される。そこで支援を受けて作業を進めたい。観測所内の不要物品の整理・破棄には相当な労力を要するため、現在の観測所常駐教職員（4名）のみでは作業は非効率であり、多大な時間を要する。技術支援を受けることで、必要な作業を短時間で効率的に完了させることを期待している。
2	2017/4/3	2017/4/4 2017/5/31	山崎友也	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	地すべりモニタリング 知床で地震観測中の観測点のメンテナンスを行う。地震観測を継続することができ、地すべりのメカニズム解明に資することができる。運転できる方を希望します。実働時間は1-2日です。
3	2017/4/21	2017/4/24 2017/5/23	山部天資	堀智晴 水資源環境研究センター 地球水動態分野	似顔絵漫画の作成 別途お送りする写真と似顔絵イメージのサンプルをご参照頂き、小生の似顔絵漫画（白黒バージョンとカラーバージョン）の作成をお願いします。思い切りデフォルメしているが、本人とわかるようなくすと笑いを誘えるようなものになるとありがたいです。Webページや要覧なので写真の代わりに使用する、講演等の講師紹介に写真の代わりに利用してもらおうなどして、情報発信を親しみやすく印象深いものにしたい。
4	2017/5/9	2017/6/7 2017/6/9	山崎友也 波岸彩子	山崎健一 地震予知研究センター リアルタイム総合観測分野	宮崎観測所教育・研究環境整備 不要物品の整理・破棄を含む環境整備が本支援の内容である。宮崎観測所は海域（日向灘）を含む南九州の地震・地殻変動の研究観測拠点であり、最近数年の研究課題の拡大に伴い観測準備等に多くのスペースを要するようになってきた。観測所には、技術の進歩等のために現在では使われなくなった機材・雑誌類等がたまっており、これらを整理・破棄することで、研究観測に必要な作業スペースが確保できると期待される。4月にも技術室の支援を受けて作業を進めた進めたが、今回も継続して支援を受けることで作業を進めたい。観測所内の不要物品の整理・破棄には相当な労力を要するため、現在の観測所常駐教職員（4名）のみでは作業は非効率であり、多大な時間を要する。技術支援を受けることで、必要な作業を短時間で効率的に完了させることを期待している。前回の支援（4月）では大きな効果があった。今回も大きな効果を期待している。
5	2017/5/11	2017/7/1 2017/7/3	三浦勉 中本幹大 荒上夏奈	堤大三 流域災害研究センター 流域圏観測分野	砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会 研修会における現地実験および堰堤からの土砂流出作業の準備、実験補助業務を支援して頂く。研修会での現地実験の円滑な実施、技術職員の砂防・土木に関する観測・実験研究に対する知見の充実が期待できる。
6	2017/5/17	2017/5/19 2017/5/19	久保輝広	吉田聡 流域災害研究センター 流域圏観測研究分野	潮岬風力実験所TVアンテナ配線作業 潮岬風力実験所では災害時の情報収集のため、研究棟屋上にTVアンテナを設置していましたが、強風のため配線していたアンテナ線が破断し、TVが視聴できない状況です。本支援依頼では、破断したアンテナ線の再配線作業をお願いします。TVアンテナ線の破断により、災害発生時の情報収集が困難になっていたが、この再配線により、災害研究の初動対応迅速化、効率化が期待できる。

7	2017/5/18	2017/5/23 2018/5/25	富阪和秀 山崎友也 栗栖理恵	飯尾能久 地震予知研究センター 内陸地震分野	鳥取県中部の地震の余震観測 鳥取県中部の地震の余震観測点のCFカードと電池の交換などのメンテナンス。鳥取県中部の地震の余震観測点のCFカードと電池の交換などのメンテナンスを行うことにより、貴重な余震データを継続して取得することが可能となって、内陸地震の発生過程の解明に資する
8	2017/5/29	2017/6/12 2018/6/16	三浦勉 波岸彩子 中川潤 長岡愛理	飯尾能久 地震予知研究センター 内陸地震分野	0.1満点地震観測 地震予知研究センターでは、九大・東大地震研・鳥取大と共同で、鳥取県西部地域において0.1満点地震観測を行っている。これまでに8割程度の設置が終了し、6月末までに残りの点の設置を終える必要がある。本業務は京大分担分の約130点の設置を行うものである。0.1満点地震観測網がほぼ完成し、内陸地震の発生過程の解明に資する。
9	2017/6/2	2017/6/5 2017/6/30	加茂正人	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	飯山の地すべり調査 長野県飯山市の地すべり現場でドローンによる空中写真撮影を行い、三次元モデルを作成する。三次元モデルを作成することにより、シミュレーションが可能になる。ドローンの撮影と車の運転ができる方を希望します。
10	2017/6/15	2017/6/28 2017/6/28	久保輝広	吉田聡 流域災害研究センター 流域圏観測研究分野	潮岬風力実験所実験家屋窓修理 潮岬風力実験所では、耐風実験家屋を現場観測時の仮眠場所として利用していますが、経年劣化により、窓の網戸が破損しており、害虫の侵入を防ぐためには窓の開放ができない状況です。本支援依頼では、破損した網戸の張替作業をお願いいたします。この網戸張替により、害虫の侵入を防ぎつつ外気の取り込みが可能になる。これによって現場観測時の安全な仮眠時間が確保され、観測作業の効率化が期待できる。
11	2017/6/29	2017/6/28 2017/6/30	山崎友也	王功輝 斜面災害研究センター 地すべりダイナミクス分野	地震時地すべり再現実験 地震時地すべり再現試験機5号機の修理。地震時地すべり発生・運動機構の解明に貢献する。
12	2017/7/6	2017/7/19 2017/7/21	澤田麻沙代 波岸彩子	加納靖之 地震予知研究センター 地震予知情報分野	上賀茂神社文書の撮影 地震や自然災害、天文現象の解析のため、上賀茂神社文書のデジタルカメラ撮影をおこなう。場所は上賀茂神社（京都市北区）。貴重な古文書をデジタル撮影することにより、手で解析できるようになる。1名参加していただくことにより、撮影（ページめくり、計数などを含む）がスムーズにできる。
13	2017/7/10	2017/7/15 2017/7/15	久保輝広	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測研究分野	高校生現地実習の補助 大阪市立汎愛高等学校の夏期実習が白浜地域で実施され、白浜海象観測所においても7/15（土）に「沿岸水域の水質等の測定」を実施する予定である。観測船で田辺湾に出て、水温、塩分等の鉛直分布計測を複数地点で行う予定であり、その実習の補助を行う。実習では、実習担当の高校教員および生徒7名程度が観測船に乗り込んで沿岸での観測実習が予定されている。本業務により、当日の観測実習が安全かつ円滑に実施することが期待される。
14	2017/7/13	2017/9/27 2017/10/3	三浦勉 波岸彩子	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	地すべりモニタリング 北海道羅臼の地すべり地点において、ひずみ計測システムの設置及び地震観測点のメンテナンスを行う。主な作業内容： ・これまでに設置している満点地震計3点のメンテナンス ・ひずみ計測システムに付属するソーラーパネルやロガーの設置補助 ・一人は運転のできる人をお願いします ・日程候補9/27-10/3のうち、第一候補が9/27-9/30の3泊4日です 地すべりのモニタリングを行い、災害の早期検知を目指すとともに、地すべり発生物理メカニズムの解明に寄与することができる。

15	2017/7/13	2017/10/20 2017/10/21	三浦勉 山崎友也 荒上夏奈	吉田聡 流域災害研究センター 流域圏観測研究分野	潮岬風力実験所での京大ウィークス2017「大気観測の実体験」開催補助 2017年10月21日(土)に潮岬風力実験所において、京大ウィークス2017の一環として「大気観測の実体験」を開催します。その中で気象観測デモンストレーションを実施するに当たり、前日当日の観測機器の準備、設置、観測補助及び来場者対応をお願いいたします。潮岬風力実験所で実施している大気観測を一般の方に体験していただくことで、自然や研究への理解を深める効果が期待される。
16	2017/7/14	2017/7/14 2017/7/31	山崎友也 米田格	宮田秀介 流域災害研究センター 流砂災害分野	TDRセンサの作成 現在、TDR (Time Domain Reflectometry) を利用した河川水土砂濃度および河床変動の計測手法を開発している。本計測に必要なセンサ部の基礎部分はこれまで既製品の組み合わせで作成してきた。今後、計測対象に合わせて様々な形状のセンサを使用することを念頭に、3Dプリンタを利用してセンサ基礎部の作成を依頼するものである。作成してもらった基礎部を使ってセンサを作成し、測定精度を検証する。測定に問題がなく、3Dプリンタが利用可能であるとわかれば、様々な大きさや形状のセンサを作成可能になり、より測定対象に適した計測を行うことができると期待している。
17	2017/7/25	2017/8/28 2017/10/31	小松慎太郎	山崎健一 地震予知研究センター リアルタイム総合観測分野	宮崎県での稠密地球電磁気観測 九州地域の地下電気伝導度構造を求めるための地球電磁気観測 (MT観測) を実施する。具体的な作業は、観測点を構成するセンサー・電源・記録装置の設置・移設・保守・撤収である。支援者には、観測点間の移動のための運転、および観測点での各種作業を補助していただきたい。支援を受けることで、多数の観測点でデータを得ることが可能となる。データの量は推定される電気伝導度構造の分解能・精度の向上に必須である。高い分解能・精度をもつ電気伝導度構造が得られれば、地震活動との対比が可能となる。こうした比較結果は、将来発生する地震の規模の推定などにつながることを期待されている。 ・作業日数は、計10～15日程度を予定している。 ・野外での十分な観測経験を有し、かつ、細い山道でも運転ができる技術職員の派遣をお願いしたい。 ・本研究課題は他大学(九州大学、他)との共同研究として実施する。
18	2017/7/30	2017/9/11 2017/11/2	中川潤 荒上夏奈 波岸彩子 山崎友也	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクトニクス分野	九州(宮崎)での広帯域MT観測 「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」において九州大学との共同研究として実施中の九州広域での電磁気観測に関する、調査器材の設置・回収。電磁気観測の効率的実施、および九州大学との共同研究の進展に効果を期待する。支援依頼期間ですが、9月11日～11月2日としておりますが、下記の期間それぞれ1名を希望いたします。 2017年9月11日～9月15日、2017年10月10日～10月14日、2017年10月20日～10月24日、2017年10月30日～11月2日。
19	2017/8/1	2017/8/31 2017/9/3	山崎友也 川崎慎吾	倉田真宏 地震防災研究部門 耐震機構分野	日本建築学会全国大会での発表 2017年8月31日から9月3日の日程で広島工業大学にて開催される日本建築学会全国大会に参加し、研究発表をする。京都大学防災研究所において実施された研究成果を発表し、また建物の耐震性能向上にかかる関連資料を取集することで、防災研究所における大型実験の実施にかかる技能向上が期待される。
20	2017/8/21	2017/8/21 2018/8/22	米田格	岩田知孝 地震災害研究部門 強震動分野	地震計設置に必要な石版カット 地震観測で用いる地震計を地面上に設置する際に置く台として、石版を利用するが、それを適切なサイズに切る。具体的には20cm×8cm×1cmの石版を13cmと7cmの長さで切り分ける(作業枚数は14枚)。効率的、かつ安全な作業が期待される。

21	2017/8/29	2017/10/30 2017/10/31	加茂正人	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	飯山の地すべり調査 2017年5月に発生した長野県飯山市の地すべりのドローン撮影およびGPS計測を行い、地すべりの標高モデルを作成する。2017年6月にドローン撮影を行い標高モデルを作成したが、解像度が低かったため、今回のGPS計測結果と合わせることで、標高モデルを高精度化し、地すべりシミュレーションに使用することが可能となる。
22	2017/9/5	2017/9/20 2017/9/20	久保輝広	吉田聡 流域災害研究センター 流域圏観測分野	潮岬風力実験所屋上気象観測システム取付作業 潮岬風力実験所において、熊野灘で掘削作業を行う「ちきゅう」との海陸同時気象観測を実施します。本支援依頼では、「ちきゅう」に設置されたものと同じ気象観測システムの潮岬風力実験所本館屋上への設置作業をお願いします。熊野灘の海上で1ヶ月以上定点観測する「ちきゅう」と近接する潮岬風力実験所で同時観測を行うことにより、黒潮域における大気海洋相互作用の実態を観測することができる。
23	2017/9/11	2017/9/11 2018/9/30	山崎友也 川崎慎吾	松島信一 地震災害研究部門 構造物震害分野	3Dプリンタによる計測器カバーの作成 強震応答実験装置において、土層試験を行う際に加速度計を保護するためのカバーを3Dプリンタにて作成。作成頂くカバーにより加速度計が保護され、安全に実験を遂行できるようになる。
24	2017/9/20	2017/11/20 2018/11/26	三浦勉 中川潤	片尾浩 地震予知研究センター リアルタイム総合観測分野	南九州横断人工地震探査 桜島を通り鹿児島県を東西に横断する測線で、人工地震による地殻構造探査を行う。鹿児島大学を中心に全国の地震関係の大学が参加する。京大は人工地震観測用の小型ロガーを測線沿いに約70台を設置し観測する。南九州を横断する地殻構造と沈み込むフィリピン海プレートの構造について、精細な構造が明らかになると期待される。桜島火山や始良カルデラの深部構造についても詳しい構造が明らかになると期待され、地震/火山防災の今後の研究に役立つ基礎的なデータが得られるものと考え。過去に人工地震探査に従事した経験のある方を希望する。とくに白山工業製LS8200SDの取り扱いに習熟していることが望ましい。
25	2017/9/28	2017/9/6 2017/9/7	久保輝広	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測分野	全学共通科目（ILASセミナー）での観測作業補助 9/6～9/7の予定で、全学共通科目（ポケットゼミ）が白浜海象観測所で実施されます。本ポケットゼミでは、河川、および海に関する観測体験を実施する予定で、その観測作業の実施補助をお願いします。本ILASセミナーは、1回生対象に現地観測を通じた研究活動を紹介するもので、実際の観測作業を体験することは、1回生にとっても貴重な体験になると思われます。
26	2017/10/5	2017/10/23 2017/10/23	加茂正人	西嶋一欽 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	UAV空撮による地表面抵抗体パラメタの推定 (1) 宇治川0LでUAV空撮を行う。 ・撮影対象は「建物」、「樹木（単体）」とする。 ・「撮影高度」「対象までの距離」を変えて複数回撮影する。 (2) 撮影した建物のサイズを実測する。 撮影した結果を用いて、3次元点群データを作成する。作成した点群データの精度を確認するとともに、最適な撮影条件を明らかにする。また、作成した3次元点群データを数値流体解析の計算の際に用いることが可能であるか検証する。

27	2017/10/20	2017/11/28 2017/11/28	長岡愛理	橋本学 地震予知研究センター 海溝型地震分野	六甲山系GPS観測 1995年兵庫県南部地震以降の地殻変動を検出するため、六甲山系の三角点において、GPS観測を行う。GPS観測の実地経験と、六甲山系の地形・地質等に造詣を深める。 公用車の運転および観測機材運搬・設置の支援をお願いします。
28	2017/11/17	2017/12/25 2017/12/27	山崎友也	松四雄騎 地盤災害研究部門 山地災害環境分野	九州北部豪雨災害地における斜面調査 2017年7月の九州北部豪雨によって発生した斜面災害にかかる地盤調査と水文観測機器の設置。支援を受けることで単独踏査では不可能な作業や原位置試験が可能になり、崩壊が生じた斜面での地盤構造と水文環境を把握することができ る。
29	2017/11/16	2017/11/24 2017/11/24	久保輝広	吉田聡 流域災害研究センター 流域圏観測分野	潮岬風力実験所温湿度計テスト用ケーブル設置 潮岬風力実験所で連続観測を実施している温湿度計の観測値に異常値が出現したため、原因特定のためにテスト用ケーブルを設置する。潮岬風力実験所では気象データを連続観測することで、台風や爆弾低気圧による災害メカニズムの解明と防災を実現する研究を行っている。本技術支援では、連続観測をしている温湿度計にテスト用のデータ通信ケーブルを設置し、異常値要因を特定することで、精度よい連続観測を持続し、防災研究に貢献することが期待される。
30	2017/12/18	2017/12/18 2018/12/19	久保輝広	吉田聡 流域災害研究センター 流域圏観測分野	潮岬風力実験所温湿度計点検 潮岬風力実験所では、台風や爆弾低気圧による強風災害の軽減を目的として、常時気象観測を実施している。本業務は異常値が頻発するようになった温湿度計の取り外しと点検を実施するものである。本業務は、潮岬風力実験所での継続的な気象観測を維持することができ、気象災害の実態を把握する観測研究の実施に資するものである。
31	2017/12/18	2017/12/18 2018/1/18	山崎友也	上田恭平 地盤災害研究部門 地盤防災解析分野	サクシオンパケット基礎の遠心模型実験のための模型作製 洋上風力発電の基礎構造として近年注目されているサクシオン基礎を対象に、耐風・耐震機構を調べるための遠心模型実験を計画している。模型実験を実施するにあたり、サクシオンパケット基礎の小型模型を準備する必要があり、本依頼業務は3Dプリンタによる模型作製をお願いするものである。サクシオンパケット基礎は洋上風力発電の新たな基礎構造として近年注目されているが、低コストである反面、暴風や地震に対する安定性に関しては不明な点が多い。作製頂く小型模型を用いた遠心実験により耐風・耐震機構が詳細に把握できれば、実施工に向けた一ステップとなると期待される。
32	2018/1/23	2018/1/18 2019/1/19	山崎友也	佐々木 寛介 寄附研究部門（日本気象協会） 気象水文リスク情報	ドローンによる機動的な大気環境観測手法の開発 ドローン電源コネクタEC5の交換
33	2018/1/31	2018/2/8 2018/2/8	久保輝広	吉田聡 流域災害研究センター 流域圏観測分野	潮岬風力実験所屋上温湿度計設置業務 潮岬風力実験所では、台風・爆弾低気圧等による強風災害の研究のため、気象要素の常時観測を実施している。本業務では、故障した温湿度計の代替品を新たに設置し、気温・湿度常時観測の復旧を行う。本業務により、潮岬風力実験所での気温、湿度の常時観測が復旧し、気象災害の防災研究の基礎となるデータの継続的な観測が可能となる。天候によって、実施日が前後する可能性がある。

34	2018/2/9	2018/2/13 2018/2/13	山崎友也	王功輝 斜面災害研究センター 地すべりダイナミクス分野	リングせん断試験 リングせん断試験機に取り付けたせん断応力を測定するロードセルに誤操作による断線があつて、今試験機が動けない状態です。断線したロードセルの半田付けをお願いしたいと思います。繊細な作業ですので、こちらで一回自分でやってみたんですが、だめでした。現在国際共同研究を実施するため、イタリアミラノ大学の研究者が斜面災害研究センターに滞在していますが、修理できたら、すぐ実験研究を始めたいと思います。
35	2018/2/28	2018/3/13 2019/3/16	波岸彩子	中道治久 火山活動研究センター 火山噴火予知分野	口永良部島における火山観測点メンテナンス 口永良部島に設置されている火山観測機器のメンテナンスと傾斜計の設置を行う。例えば、地震観測点の電源（バッテリー）を交換する。GNSS観測点のデータ交換を行う。観測室そばに浅い縦穴を掘り、傾斜計を埋設する。電源メンテナンスにより火山地震観測の安定化が期待される。また、GNSSデータを収集することにより、口永良部島のマグマ上昇量が評価できる。さらに、傾斜計を設置することにより火山浅部の火山流体の注入による微小な膨張が検知できる。なお、登山は行わないが、警戒区域に入るため、二人以上にて行動する必要がある。一人は園田氏に依頼済みであるが、もう一人必要である。警戒区域へ出入りの際には気象庁の現地事務所に連絡をとることになっている。気象庁が火山監視を行い、異常が見られれば直ちに直接電話連絡が入る体制となっている。なお、出張前のできるだけ早期にメンバーを気象庁に連絡する必要があるため、出張者は速やか（可能であれば今週中）に決めて頂きたい。

[長期支援]

No.	申請年月日	実施期間	担当者	依頼者	依頼内容
1	2016/3/20	2017/4/1 2018/3/31	波岸彩子 荒上夏菜	上田恭平 地盤災害研究部門 地盤防災解析分野	<p>遠心力載荷装置による模型実験と関連する室内土質試験</p> <p>遠心力載荷装置を用いる模型実験（静的および動的振動実験）において、装置の操作ならびにホイストクレーンによる模型土槽の設置、その他模型実験の補助（粘性流体の作製など）をお願いします。また、模型実験に関連して、土の室内要素試験等を別途行う場合があるので、こちらについても技術支援を希望します。併せて、実験を行う学生に対して、安全指導もお願いできればと思います。心力載荷装置を用いた実験では、重力場と比べて非常に大きな遠心力場において模型振動実験を実施するため、学生のみでの運用では危険が伴います。実験技術や実験に対する心構えを技術職員の方に適宜ご指導頂くことで、危険を事前に察知し、安全かつ効率的に装置を運用することができます。</p>
2	2017/3/30	2017/4/1 2018/3/31		伊藤喜宏 地震予知研究センター 地震予知情報分野	<p>国内外における海底地震・測地観測</p> <p>国内および海外（メキシコおよびニュージーランド等）における海底地震・測地観測で使用する観測機材の準備作業、データ整理および現地における観測業務の支援。国内の他大学の技術職員と連携して、観測機器の準備や現地における観測業務の支援を進めることで、当該研究・観測の円滑な推進を目指す。さらに、他大学との技術職員との連携を構築を進めることで、技術職員のネットワークの拡大を目指しつつ、また個人の技能の向上も狙う。本申請の支援は、SATREPS（代表：申請者）、科研費（基盤A海外）（代表：申請者）、特別推進（代表：東北大学日野亮太）および「災害軽減に貢献するための地震火山観測計画」の一部として行われます。</p>
3	2017/4/3	2017/4/1 2018/3/31	澤田麻沙代 中川潤 長岡愛理	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	<p>地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究</p> <p>地震・地殻変動観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他各種観測への技術的支援、センター内の関係委員会活動への支援（技術委員会、建物委員会。地震・地殻変動観測およびデータ処理システムの維持・保守を定期的に行うことにより良質な地震・地殻変動データを継続的に蓄積・流通し、センター内・学内はもとより、気象庁をはじめ全国大学研究機関において利用しやすいデータベースを構築する。また、他の各種観測や公用車の維持・保守においても、適切な技術支援を行い、当センターにおける観測研究の推進に大きく寄与する。センター配属（長期支援）技術職員の方1名が交代するので、引き継ぎ（4月～6月）をスムーズ、確実に、また無理なく行えるようにしたい。必要に応じて、交代・異動された技術職員の方に7月以降の短期的な支援もお願いできるとたいへん有り難い。4月より上宝観測所に技術職員の方が赴任するので、観測所・センター間の連絡・協力体制をじゅうぶん取るようにする。</p>
4	2017/4/3	2017/4/1 2018/3/31	富阪和秀	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	<p>地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究</p> <p>阿武山観測所において、定常地震観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他、臨時地震観測（満点・稠密地震観測）を含む各種観測への技術的支援を行う。阿武山観測所において、定常地震観測網および稠密地震観測システムの維持・保守を行うことにより良質な地震データを継続的に蓄積する。また、その他の観測・業務全般に対して技術支援を行い観測研究の推進に大きく寄与する。</p>
5	2017/4/3	2017/4/1 2018/3/31	小松信太郎	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	<p>地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究</p> <p>宮崎観測所において、地震・地殻変動観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他各種観測への技術的支援を行う。宮崎観測所における地殻変動観測システムの保守を定期的に行うことにより、センターにおいて良質な地殻変動データを継続的に蓄積する。また、全国的な地殻変動データベースの構築にも寄与する。宮崎観測所における施設維持・公用車管理を行い、また九州南部を中心とする地震、GPS等の各種観測や海域での観測、研究プロジェクト等において適切な技術支援を行い、当センターにおける観測研究の推進に大きく寄与する。</p>

6	2017/4/3 2018/3/31	2017/4/1	中本幹大	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究 上宝観測所において、定常地震観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他、臨時地震観測（焼岳、跡津川断層周辺での稠密地震観測）を含む各種観測への技術的支援を行う。上宝観測所において、定常地震観測網および稠密地震観測システムの維持・保守を行うことにより良質な地震データを継続的に蓄積する。また、その他の観測・業務全般に対して技術支援を行い観測研究の推進に大きく寄与する。今年度より上宝観測所に技術職員の方が赴任するので、同時に現地赴任する教員も含めて、観測所・センター間の連絡・協力体制をじゅうぶんに取り、観測所での各種業務が確実にまた無理なく行われるようにしたい。
7	2017/4/11 2018/3/31	2017/4/1	山崎友也 米田格	畑山満則 巨大災害研究センター 災害情報システム分野	巨大災害研究センターのサーバおよびネットワーク管理支援業務 現在、巨大災害研究センターのサーバが担っているメールシステムの移行・保守の支援業務、および、情報システムやネットワークに関するトラブル対応業務。上記業務に対する体制の再構築・強化。
8	2017/4/20 2018/3/31	2017/4/1	久保輝広	馬場康之 巨大災害研究センター 災害情報システム分野	白浜海象観測所の運営に関わる技術支援 施設維持管理、観測・計測業務、データ処理、観測・計測機器維持管理、公用車管理、地元自治体等対応、開発・設計、災害調査。本技術支援は観測所の運営の根幹を支える重要な業務であり、上記業務に関する技術支援を受けることで、観測所の維持・運営を円滑に行うことができる。業務内容に示す通り、当観測所での業務遂行に際しては、船舶の運航・維持管理を始めとする観測関連業務、観測所の維持管理業務、公用車の管理を始めとする事務処理など多岐にわたるスキルを必要とする。
9	2017/4/21 2018/3/31	2017/4/1	園田忠臣 竹中悠亮	井口正人 火山活動研究センター 火山噴火予知分野	桜島等南九州の火山における火山観測に関する包括的技術支援 桜島及び霧島山麓から諏訪之瀬島に至る本所と3観測室及び地震、GPS、潮位等の約60観測点の施設・観測機器の維持管理。水準測量・重力測定・火山ガス測定等繰り返し観測の実施。観測実験用補助機器の設計・制作。共同観測研究の支援・データ回収・処理。研究資料・試料の保全。安全衛生管理。火山噴火予知連絡会等の資料作成。週1回の宿直・月1回の日直勤務。桜島を始め、南九州の火山は活発な活動を状態にあり、多項目の観測を継続して実施している。また、学内外の多数の研究者が臨時及び継続的な調査観測を行っている。技術支援により、観測調査が円滑に進み、火山活動研究センターの研究教育活動が円滑に進むとともに、全国の火山研究拠点としての機能を果たすことができる。1人当たり週1回の宿直・月1回の日直勤務および1ヶ月半に1回の土曜日勤務(振り替え休日あり)。本所の施設・観測機器の点検・障害等対応、顕著な火山活動の発生時のセンター長・教職員への通報、外部からの連絡受付等。
10	2017/4/21 2018/3/31	2017/4/1	山崎友也 川崎慎吾	川瀬博 社会防災研究部門 都市空間安全制御分野	強震応答実験装置（大型振動台）の運用と共用促進 強震応答実験装置（大型振動台）とその計測機器類の運用・運転と維持管理、保守点検、およびその外部利用者への共用に関する必要な業務と支援をお願いします。強震応答実験装置（大型振動台）とその計測機器類が円滑かつ効果的に活用され、多くの研究成果の産出に貢献するとともに、外部利用者への共用を通してその維持管理に必要な利用料収入を上げることができるものと期待されます。強震応答実験装置の運用・運転には知識と経験が必要なことから、十分な経験を有する技術職員さんの支援をお願いいたします。
11	2017/4/25 2018/3/31	2017/4/1	松浦秀起	牧紀男 社会防災研究部門 都市防災計画分野	広報出版企画室支援 広報出版企画室の業務 ・防災研究所ホームページ・Facebook管理運営・更新 ・GADRIサポート（イベントやホームページ管理運営のサポート等） ・防災研究所のデータベースシステム、メーリングリスト管理 ・防災研究所の刊物編集 ・広報出版専門委員会、行事推進専門委員会、広報出版企画室ミーティングの参加 ・公開講座、オープンキャンパス、研究発表講演会（懇親会含む）のサポート ・広報出版企画室の安全衛生、環境整備及び連携研究棟 建物管理 ・対外広報（メディア、一般の問い合わせ等） ・外部来訪者の対応（部屋の設営、サイエンスコミュニケーターのサポート等） ・防災ミュージアムの整備・見学対応 ・その他、防災研究所所長、副所長のサポート（主に広報やイベントに関する雑務、資料作成等）

12	2017/5/1	2017/4/1 2018/3/31	三浦勉 加茂正人 西村和浩	中川一 流域災害研究センター 河川防災システム分野	宇治川オープンラボラトリーにおける実験施設の運転並びに維持管理ほか 当ラボラトリーを円滑に運営するに当たり、日常的な施設全般の保守管理、種々の見学・研修等の受入れを通じての社会貢献活動、また、全国共同利用研究施設として所内外の共同利用研究者を含めた研究者・学生等に対する施設利用上の助言や利用時における支援など多岐にわたって携わっていただきたい。宇治川オープンラボラトリーの円滑な運営に関する日常的な支援、また、種々の見学・研修等の受入れ、所内外の共同利用研究者を含めた研究者・学生等の利用者に対する施設利用上の助言や利用時における支援などを通じて、当ラボラトリーにおける研究活動並びに国際的貢献・社会的貢献活動の一層の向上に資していただけるものと期待しています。一昨年度、昨年度、今年度と研究支援推進員が雇用できたため、各種要求書や申請書の作成に大いに貢献いただいております。技術職員の負担が軽減できています。今後とも、作業を分担して効率的かつ軽負担で技術支援いただくように努力していきたいと思っています。
13	2017/5/8	2017/4/1 2018/3/31	米田格	丸山敬 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	境界層風洞における風速・風圧計測および対飛散物衝撃試験 境界層風洞実験室では建物周囲の風速場の測定および建物に加わる圧力場の測定、さらに、建築物外装材の対飛散物衝撃試験を行っているが、風速・風圧の計測、および、対飛散物衝撃試験には測定装置に関する専門知識、および、操作技能が必要であり、それらを有する技術員が研究遂行のためには不可欠である。建物周辺の気流性状および風圧力性状の解明を行い、合理的な耐風設計の提案に資する。また、建築物外装材の耐衝撃性能を解明する。
14	2017/5/11	2017/4/1 2018/3/31	市田児太郎	堤大三 流域災害研究センター 流域圏観測分野	穂高砂防観測所における観測業務全般と施設維持管理 穂高砂防観測所で実施している 1) 観測機器の設置・保守作業、データ整理・管理業務 2) 屋内・野外実験の補助業務 3) 観測所の保守・維持管理作業全般 穂高砂防観測所にて実施している観測研究、実験研究等のデータの有効的な収集、安全かつ効果的なデータ整理・記録が可能となる。また、常駐する教員や内外からの訪問研究者・学生が快適に研究活動できる環境の保持が可能となる。
15	2017/5/12	2017/5/8 2018/3/31	澤田麻沙代 山崎友也	飯尾能久 地震予知研究センター 内陸地震分野	満点計画 満点計画(次世代型稠密地震観測計画)では、阿武山観測所を基地局と位置づけており、満点地震計のデータを保存するデータサーバーを設置した。残念ながら、そのサーバーが正常に動作していないため、本業務により、その改善を試みる。サーバーが正常に動作して、阿武山観測所における、満点データのバックアップシステムが完成する。
16	2017/6/5	2017/6/5 2018/3/31	澤田麻沙代 山崎友也	松島信一 地震災害研究部門 構造物震害分野	スペース台帳システムの管理・更新 スペース台帳システムの管理および新機能追加・サーバ移行に関する支援。スペース台帳システムの維持管理を行うことにより、防災研究所の居室の利用状況の把握が可能となる。居室の利用状況の把握により、居室の有効利用について検討・実施することで、将来的には防災研全体の研究活動の活発化に寄与することが期待される。また、システムへの新機能追加およびサーバの移行を行うことで、安定的にシステムを運用することが可能となる。
17	2017/6/9	2017/6/9 2017/10/30	松浦秀起	矢守克也 巨大災害研究センター 巨大災害過程分野	災害情報学会2017年度年次大会の運営に対する協力・助言業務 今年10月21日(土)および22日(日)に、京都大学防災研究所で開催される日本災害情報学会2017年度年次大会における大会運営について、情報機器を含む施設の使用全般について監督・助言業務という形で支援をお願いしたい。防災研究所(宇治地区)の施設をより有効に活用して、上記学会大会がより円滑かつ生産的な形で実施されることが期待される。